

平成28年度 鹿児島学習定着度調査の結果について

鹿児島市立田上小学校

1 学力調査の結果について

(1) 各教科の平均通過率

通過率	基礎・基本			思考・表現			全 体		
	本 校	市	県	本 校	市	県	本 校	市	県
国語科	84.8	76.4	75.8	71.3	62.6	61.1	80.3	71.8	70.9
社会科	82.1	62.4	62.3	70.4	60.7	59.4	78.5	61.8	61.4
算数科	80.8	71.0	70.6	64.1	50.1	48.8	75.9	64.8	64.2
理 科	87.7	75.0	73.9	78.6	69.1	67.8	84.5	72.9	71.8

(2) 結果からの考察

- 全教科の「基礎・基本」「思考・判断」「全体」の全てで、市・県の平均通過率を大きく上回っている。
- 「基礎・基本」は、「社会科」「理科」が他教科に比べ県・市との差が非常に大きい。
- 「基礎・基本」「思考・表現」は、「国語科」が他教科に比べ県・市との差が小さい。

(3) 今後の対策

- 学力向上対策委員会を更に機能化し、学力検査等の傾向や課題等の分析を詳細に行うとともに、各教科等の具体的な改善策の取組を検討していく。
- 少人数指導や習熟度別指導などにより、個に応じた指導を更に充実していく。
- 授業の充実を図るために、各教科等の「共通実践事項（簡単にできる、長続きできる、評価しやすい内容）」を設定し、全職員で共通理解を図った上で実践、評価していく。
- 授業ラスト10分の取組を重点化し、終末段階に必ず適用問題に取り組む時間を設けたり、相互評価の時間を設定したりするなど、各教科等で工夫した実践に取り組み、学力の定着を図る。
- 教員の授業力向上のため、「A4ワンペーパー授業」や「教師塾」に取り組み、管理職や教科等主任の助言で指導力を向上していく。
- 本校の伝統である「学習のしつけ」を身に付けさせるとともに、「学習のしつけ強調週間」を設け、定期的に確認をしていく。
- PTAと連携して「親子読書&ノーメディアデー」を設定し、家庭学習の充実を図ることにより、望ましい学習習慣づくりを形成していく。

2 学習状況調査(質問紙)の結果について

(1) 各教科の平均回答率 (市・県と比較できるものを抜粋)

質 問 内 容		本 校	市	県
家庭学習	① 家では、自分で学習(宿題や自分で計画した学習)している。	93.4	83.8	83.6
	② 自分で計画を立てて学習していない。	6.5	12.3	12.7
学校での学習活動	③ 授業のめあてを立てている。	95.6	90.1	89.7
	④ 授業の始めに学習することを確認している。	82.6	71.2	71.3
	⑤ 学習内容を振り返る活動を行っている。	84.8	68.6	68.9
	⑥ 授業では、自分で考えたり、進んで活動に取り組んだりしている。	84.8	76.3	76.2
	⑦ 授業では、自分の考えを深めたり広げたりすることができる。	88.0	72.7	71.7

(2) 結果からの考察

- どの項目も市・県の平均通過率を大きく上回っている。
- 「授業始めに見通しをもつ活動」や「学習を振り返る活動」が他の項目に比べ県・市との差が小さい。
- 授業で、自分で考えたり進んで活動に取り組んだりする子供が多い。

(3) 今後の対策

- 家庭学習においては、教師が与える宿題だけではなく、自分で計画して学習を進めるような宅習等を充実できるようにする。
- 毎時間、学習の見通しをもたせたり、学習を振り返ったりして、次時の学習への意欲をもたせるなど主体的に学習に取り組むような授業実践を継続していく。